

2007年10月22日

●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・田中 茂
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大崎が開幕4連勝、湧永も負けじと追走 ～第32回日本ハンドボールリーグ第4週～

第32回日本ハンドボールリーグ第4週は、10月20日、21日の両日、男子のみ8試合が愛知県内4会場で行われた。

開幕から3連勝していた大崎電気が順当勝ちで4連勝、湧永製薬、大同特殊鋼、トヨタ紡織九州も両日で白星を重ねて力強く浮上したのに対し、大崎と同じく開幕3連勝と好調だったトヨタ車体が湧永、そして北陸電力に連敗。くっきりと明暗を分けた。

20日、愛知・稻沢で豊田合成と対戦した大崎は、岩本、中川、宮崎ら真打ちの活躍で試合の流れを完全に支配。メンバーを入れ替えてからは畠中、渡久山らで思い切りよくぶつかってきた合成の勢いに手を焼く場面もあったものの、後半は効果的な連続得点で合成を突き放し、開幕からの連勝を4に伸ばした。

同日、愛知・知立では車体と湧永が激突。車体はスタートでの4連続失点から香川、門山の日本代表コンビを軸によく態勢を立て直し、前半なかばからは一進一退の展開となった。ともに決定的なリードを許さぬまま試合は終盤に入り、残り2分の時点で28-28の同点。どちらに転んでもおかしくない緊迫した状況から、湧永が下川、東の3連打で試合を決め、大きな1勝をマークした。

湧永は翌21日、愛知・名古屋でのトヨタ自動車戦も後半、怒涛の12連取などで45-16と圧勝。開幕戦（対トヨタ紡織九州）での引き分けからやや重苦しかったムードを完全に振り払った。

逆に、この湧永との接戦を落とした車体は、21日、地元、愛知・刈谷での北陸電力戦にもショックを引きずった形。リードを奪ってさらに加速していくべき場面で拙攻や退場、連続失点と自らコントロールを失って、無欲でチャレンジしてきた相手を勢いづけてしまった。後半残り5分、35-31と北電4点リードの場面から香川、鶴谷、崎前の4連打でいったんは同点に追いついたものの、残り40秒、北電のエース神田に決勝ゴールを許し、まさかの敗戦。ガックリうなだれる車体セブンの横で、旧1部リーグ勢からの初勝利をマークして歓喜する北電セブンの雄叫びが響き渡った。なお、この試合で車体・小沢が通算500得点を達成した。

(2ページ目に続く)



第5週の日程

10月27日(土)・新潟・上越市柿崎総合体育館(JR信越本線柿崎駅徒歩30分)
・石川・小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)

10月28日(日)・長野・千曲市戸倉体育館(しなの鉄道戸倉駅下車上田方面徒歩15分)
・富山・富山県西部体育センター(JR城端線砺波駅バス20分)
・石川・小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)
・福井・北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)
・三重・三重県営鈴鹿スポーツガーデン体育館(近鉄名古屋線白子駅車20分)
・広島・東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)

14:00～(女) オムロン × 広島メイプルレッズ
11:00～(女) ソニーセミコンダクタ九州 × H C 名古屋
13:00～(女) 北国銀行 × 三重バイオレットアイス
14:00～(男) トヨタ車体 × 大同特殊鋼
13:00～(女) 広島メイプルレッズ × H C 名古屋
13:00～(女) 北国銀行 × オムロン
13:00～(女) ソニーセミコンダクタ九州 × 三重バイオレットアイス
15:00～(男) 北陸電力 × 豊田合成
14:00～(男) H onda × トヨタ紡織九州
14:00～(男) 湧永製薬 × 大崎電気



①通算600得点をマークした大同特殊鋼・白
②トヨタ紡織九州・鈴木

大同、紡織も連勝で上位をキープ

大崎電気、湧永製薬を追う大同特殊鋼、トヨタ紡織九州も2連勝をマークして上位グループに踏みとどまった。大同・北陸電力戦は前半16分8-8から、大同が李のカットイン、末松の速攻などで徐々に差を広げ17-11で前半終了。後半に入ると1対1の能力に勝る大同が、北電の攻撃をことごとく阻止し、17分過ぎには31-16と15点差をつけて試合を決定づけた。Honda戦は前半12分過ぎからの6連取で主導権を奪うと、16-12と4点リードで折り返した後半出だしから白の強打が冴え渡り、8分には白がこの日9点目となるゴールでリーグ通算600得点を達成。対するHondaもベテラン谷口を投入して巻き返しを図ったが、大同の優勢は変わらなかった。

紡織も好調な戦いぶりをみせた。トヨタ自動車戦は海道の速攻で先制点を奪うと、その後もルーキー鈴木の3連取などで快調に加点、GK松野のファインセーブも光り、前半24-11の大量リードで早々と試合の大勢を決めた。合成戦は序盤で合成・畠中らに4連取を許して6分5-7と先行されたが、13分11-11と同点としたあとは本来のスピードあふれる攻守で地力を発揮、19分過ぎから阪らの5連取で混戦を抜け出した。後半、合成も桶谷らで必死に追撃したが、鈴木、藤山を軸に踏ん張りをみせた紡織が前半のリードに助けられる形で勝利を手中にした。

次週は日本代表のヨーロッパ遠征で2週のブレイクがあった女子も再開、新潟などで男子4試合、女子6試合が組まれる。男子では大同・車体、湧永・大崎、女子もオムロンが広島メイプルレッズ、北国銀行の挑戦を受けるほか、ソニーセミコンダクタ九州・三重バイオレットアイリス戦など上位争いを左右する好カードが組まれており、白熱戦が期待できそうだ。

◆ 10月20日（土） 男子 愛知・知立市福祉体育館				◆ 10月20日（土） 男子 愛知・知立市福祉体育館			
トヨタ紡織 九州 43 (24-11) 22 2勝1分1敗				トヨタ 自動車 0勝0分3敗			
<1/3> K 松 野 岩 田 3/4 0/1 5/6 中 畠 0/0 2/3 西 端 口 0/1 1/2 植 木 栗 崎 4/6 3/3 村 上 秀 小 林 0/0 1/1 3/3 吳 相 民 多 和 田 1/6 2/3 3/4 佐 久 間 佐 藤 K <1/2> 0/1 鶴 田 澤 田 0/0 0/1 4/4 海 道 出 會 1/2 3/4 阪 稲 本 K <2/4> 1/1 8/10 鈴 木 光 增 5/11 1/2 4/6 藤 山 三 上 0/0 1/2 船 木 福 田 0/8 3/10 泉 原 山 口 6/12				<0/2> K 志 水 木 下 K <2/4> 8/14 下 川 田 中 勝 0/0 0/0 濱 本 佐 々 木 0/0 2/5 山 中 高 智 3/3 1/1 福 田 吉 田 藤 田 0/1 3/4 9/15 東 竹 下 1/1 <0/1> K 坪 根 北 出 0/2 0/0 今 井 長 谷 川 1/1 <0/1> K 松 村 鶴 谷 3/6 1/3 古 家 谷 井 K <0/3> 1/3 渡 迂 香 川 2/5 4/4 2/5 山 口 崎 前 3/4 2/3 東 長 濱 門 山 7/16			
3/6 40/58 12 (FPP) 9 審判（坪井・河合）				5/7 26/55 7 (FPP) 12 審判（浜田・小笠原）			
20/50 2/3 観客 344人				24/46 4/4 観客 705人			

Team
Topics

Honda
Honda Elk



Honda Elkの心強い味方

部員数は現在14名と全盛期の23名に比べて年々少なくなってきたましたが、日本リーグ6連覇を達成した時の様に、常に優勝を目指す日々頑張って活動しています。竹田、青山ら20才前後の若手たちがグイグイと力を伸ばして第一線に飛び出しているのも明るい材料です。

そんな中、Hondaセブンの心強い味方となるのが全国の熱烈なファン・サポーターの応援。日本リーグのみならず、実業団選手権、国体と遠方にも関わらず会場に駆けつけてくれる方々がいます。チームへの熱いご声援はもとより、選手への叱咤激励、ホームページでの書き込みなど、選手にとっては有難い存在であります。また、試合当日は「きっと



勝つ」にかけて『キット・カット』を差し入れていただいたら、チーム愛称入りの垂れ幕まで作成し、いつも会場に張られて一緒にになって戦ってくれます。

この方々の熱い気持ちに応えるべく、また自分達のためにも3年ぶりのブレーオフ出場、そして優勝という目標に向けて最後まで諦めずに努力し、今ある環境で頑張って行きたいと思います。今後ともご声援よろしくお願ひ致します。

◆ 10月20日（土）男子 愛知・稲沢市総合体育館	◆ 10月20日（土）男子 愛知・稲沢市総合体育館	◆ 10月21日（日）男子 愛知・大同工業大学石井記念体育館
大同特殊鋼 36 (17-11) 27 北陸電力 2勝0分1敗	大崎電気 38 (20-15) 24 豊田合成 4勝0分0敗	湧永製薬 45 (22-11) 16 トヨタ自動車 3勝1分0敗
<0/1> K 萩 田 高 橋 2/4 1/1 松 林 神 田 5/15 7/11 末 松 落 合 5/8 0/0 富 田 桜 井 5/12 5/6 武 田 前 田 2/5 0/1 7/11 岸 川 高 田 3/5 2/4 大 田 杉 山 0/1 K 高 木 北 村 0/0 10/14 李 才 佑 表 0/1 1/2 千々 波 安 藤 K K 東 山 原 4/9 1/1 0/1 山 本 亀 田 0/0 0/0 白 元 誠 有 江 K <1/1> 3/4 渡 久 川	K 浦 和 6/9 6/9 豊 田 0/0 4/6 前 田 黒 木 0/0 3/3 中 川 桶 谷 2/4 0/1 佐 藤 門 野 0/0 3/4 永 島 余 田 2/4 6/8 岩 本 大 植 0/0 1/1 太 田 渡 久 山 4/10 1/1 <0/1> K 濱 岩 中 村 2/3 1/3 岩 永 椿 原 3/5 1/2 東 藏 元 0/0 2/3 猪 妻 河 島 0/0 2/2 望 月 畠 中 7/18 9/11 宮 佐 藤 3/4	K 立 K 飛 田 8/9 8/9 下 山 6/6 6/6 中 田 福 田 4/9 4/9 吉 田 多 和 田 2/5 1/1 東 佐 佐 藤 K K 坪 田 0/0 0/0 武 井 中 村 6/8 6/8 今 松 古 家 0/0 K 村 0/0 0/0 渡 田 5/5 5/5 三 福 田 6/7 1/1 東 長 濱 口 5/8
0/1 36/54 9 (FPP) 7 審判（浅野・田中基）	0/0 38/53 3 (FPP) 5 審判（藤井・大歎）	2/2 43/58 6 (FPP) 7 審判（油上・中村）
北陸電力 36 (17-19) 35 トヨタ車体 1勝0分4敗	豊田合成 32 (23-16) 32 トヨタ紡織 3勝1分1敗	観客 562人
観客 686人	観客 318人	
◆ 10月21日（日）男子 愛知・大同工業大学石井記念体育館	◆ 10月21日（日）男子 愛知・ウイングアリーナ刈谷	◆ 10月21日（日）男子 愛知・ウイングアリーナ刈谷
大同特殊鋼 32 (16-12) 25 Honda 3勝0分1敗	九州 39 (16-16) 32 豊田合成 3勝1分1敗	北陸電力 36 (17-19) 35 トヨタ車体 3勝0分2敗
<0/1> K 萩 田 中 谷 1/2 0/0 松 林 鶴 見 6/8 1/1 5/16 末 松 河 瀬 1/1 0/0 浦 田 竹 田 4/9 4/6 富 田 横 地 1/4 0/1 0/0 武 田 伊 藤 1/1 0/1 2/5 岸 川 青 山 2/3 0/0 大 田 谷 口 2/5 <2/2> K 高 木 吉 村 K <0/2> 0/0 李 才 佑 野 嶋 6/11 1/2 0/0 千々 波 吉 井 K 4/6 山 本 四 方 K <1/2> 2/2 10/19 白 元 誠 渡 久 川	<2/2> K 松 野 6/12 6/12 中 畠 1/2 1/2 西 端 黒 木 0/0 7/10 村 上 秀 桶 谷 6/9 3/6 呉 相 民 門 野 0/0 3/4 佐 久 間 余 田 1/2 1/2 鶴 田 大 植 0/0 1/1 0/0 海 道 渡 久 山 4/10 0/3 6/6 阪 中 村 7/9 <1/2> K 谷 川 3/4 4/4 鈴 木 椿 原 6/12 藏 元 0/0 3/6 藤 山 河 島 0/0 2/2 船 木 畠 中 3/8 0/1 泉 佐 藤 3/5	<1/4> K 西 田 4/4 4/4 高 橋 11/19 神 田 11/19 神 田 落 合 4/5 3/7 桜 井 安 藤 4/5 3/3 前 田 3/3 2/4 高 田 2/4 0/0 北 村 3/3 長 谷 川 0/0 4/5 杉 山 小 津 3/5 0/0 表 鶴 谷 3/5 0/1 1/3 山 原 谷 井 K 1/2 亀 田 香 川 5/7 2/2 <0/2> K 有 江 崎 前 5/5 門 山 7/12
3/4 29/61 8 (FPP) 6 審判（浜田・小笠原）	3/4 36/55 13 (FPP) 18 審判（浅野・田中基）	3/4 33/52 9 (FPP) 17 審判（藤井・大歎）
観客 513人	観客 144人	観客 487人

Team
Topics

三重バイオレットアイリス
MIE.V.I.



いつまでも愛され続けるチームに

昨年のリーグ参戦から2シーズン目を迎える『三重バイオレットアイリス』。地元企業と地域の人々に支えられ、ひとまわり大きくなっています。

今シーズンは昨年の悔しい経験を生かし、新人5名とともにメンタル・フィジカルの更なるパワーアップをはかり、個々を上げることでチームのレベルアップへつなげてきました。ダイナミックなキーピングが持ち味のGK毛利の堅実な守りを軸に『DFから速攻』で得点力UPへつなげ、センター伏見のスピードあるプレー、ポスト桂とのコンビネーション、そして橋本寛、伊藤の得点力にも注目です。

そして、この開幕戦、幸先よく念願であった白星での好ス



タートとなり、現在1勝1分でチームは上り調子。

1戦1戦を大切に戦いチーム目標でもある『MUST5勝』を全員プレーで掴み取りにいきます。

三重県の県花である『花菖蒲』をモチーフにしたチームマスコット『ミビィ』のように地域に話題を提供し、いつまでも愛され続けるチームとして、夢を掴み、歴史を作るため挑戦し続ける『三重バイオレットアイリス』でありたいと思います。みなさんの熱い応援をよろしくお願いします!!

男女個人賞レース 第4週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 吴 相 民 (トヨタ紡織九州)	32 点	(5試合)	1 郭 惠 静 (ソニーアイリス)	15 点	(2試合)
1 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	32 点	(5試合)	2 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	12 点	(2試合)
3 門山 哲也 (トヨタ車体)	30 点	(5試合)	2 吉田 祥子 (オムロン)	12 点	(2試合)
3 神田 友和 (北陸電力)	30 点	(5試合)	4 水野 恵子 (オムロン)	11 点	(2試合)
5 下川 真良 (湧永製薬)	29 点	(4試合)	4 小野澤 香理 (北国銀行)	11 点	(2試合)
5 香川 将之 (トヨタ車体)	29 点	(5試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	11 点	(2試合)
7 中村 晃己 (豊田合成)	25 点	(5試合)	4 上町 史織 (北国銀行)	11 点	(2試合)
7 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	25 点	(5試合)	4 植垣 曜恵 (メイブルレッズ)	11 点	(2試合)
7 宮崎 大輔 (大崎電気)	25 点	(4試合)	4 金 鎮順 (メイブルレッズ)	11 点	(2試合)
7 末松 誠 (大同特殊鋼)	25 点	(4試合)	10 橋本 寛子 (バイオレットアイリス)	10 点	(2試合)
7 渡久山 慶一 (豊田合成)	25 点	(5試合)	11 大前 典子 (メイブルレッズ)	9 点	(2試合)
12 東 慶一 (湧永製薬)	24 点	(4試合)	11 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	9 点	(2試合)
13 岸川 英誉 (大同特殊鋼)	23 点	(4試合)	11 東濱 裕子 (オムロン)	9 点	(2試合)
13 桶谷 英則 (豊田合成)	23 点	(5試合)	14 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	8 点	(2試合)
13 畠中 益喜 (豊田合成)	23 点	(5試合)	14 田中 美音子 (ソニーアイリス)	8 点	(2試合)

フィールド得点賞

1 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	32 点	(5試合)	1 郭 恵 静 (ソニーアイリス)	12 点	(2試合)
2 門山 哲也 (トヨタ車体)	30 点	(5試合)	2 水野 恵子 (オムロン)	11 点	(2試合)
2 神田 友和 (北陸電力)	30 点	(5試合)	2 小野澤 香理 (北国銀行)	11 点	(2試合)
4 下川 真良 (湧永製薬)	29 点	(4試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	10 点	(2試合)
5 吳 相 民 (トヨタ紡織九州)	28 点	(5試合)	4 金 鎮順 (メイブルレッズ)	10 点	(2試合)
6 中村 晃己 (豊田合成)	25 点	(5試合)	6 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	9 点	(2試合)
6 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	25 点	(5試合)	6 大前 典子 (メイブルレッズ)	9 点	(2試合)
6 宮崎 大輔 (大崎電気)	25 点	(4試合)	6 上町 史織 (北国銀行)	9 点	(2試合)
9 末松 誠 (大同特殊鋼)	24 点	(4試合)	6 東濱 裕子 (オムロン)	9 点	(2試合)
10 桶谷 英則 (豊田合成)	23 点	(5試合)	10 橋本 寛子 (バイオレットアイリス)	8 点	(2試合)
10 畠中 益喜 (豊田合成)	23 点	(5試合)			

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 中村 晃己 (豊田合成)	25点 / 32射	0.781	1 橋本 寛子 (バイオレットアイリス)	8点 / 8射	1.000
2 下川 真良 (湧永製薬)	29点 / 40射	0.725	2 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	9点 / 10射	0.900
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	25点 / 36射	0.694	2 大前 典子 (メイブルレッズ)	9点 / 10射	0.900
4 宮崎 大輔 (大崎電気)	25点 / 39射	0.641	4 水野 恵子 (オムロン)	11点 / 14射	0.786
5 吳 相 民 (トヨタ紡織九州)	28点 / 45射	0.622	4 小野澤 香理 (北国銀行)	11点 / 14射	0.786

7mスロー得点賞

1 香川 将之 (トヨタ車体)	10 点	(5試合)	1 植垣 曜恵 (メイブルレッズ)	8 点	(2試合)
2 東 慶一 (湧永製薬)	7 点	(4試合)	2 吉田 祥子 (オムロン)	7 点	(2試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成)	7 点	(5試合)	3 東 サヤカ (ソニーアイリス)	4 点	(2試合)
4 内田 雄士 (大崎電気)	5 点	(1試合)	4 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	3 点	(2試合)
5 柳本 義文 (Honda)	4 点	(2試合)	4 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	3 点	(2試合)
5 鈴木 渚 (トヨタ紡織九州)	4 点	(2試合)	4 郭 恵 静 (ソニーアイリス)	3 点	(2試合)
5 白 元 錠 (大同特殊鋼)	4 点	(3試合)	4 武井 夏紀 (北国銀行)	3 点	(2試合)
5 吳 相 民 (トヨタ紡織九州)	4 点	(5試合)			

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1 安藤 功規 (北陸電力)	4本 / 6射	0.667	1 森田 由美 (バイオレットアイリス)	3本 / 5射	0.600
2 濱口 靖 (大崎電気)	4本 / 9射	0.444	2 藤間 かおり (オムロン)	1本 / 3射	0.333
3 木下 国大 (トヨタ車体)	6本 / 15射	0.400	2 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	1本 / 3射	0.333
3 稲本 圭亮 (トヨタ自動車)	4本 / 10射	0.400	4 高森 妙子 (メイブルレッズ)	2本 / 8射	0.250
5 谷川 一寿 (トヨタ紡織九州)	3本 / 9射	0.333	4 木澤 尚子 (北国銀行)	1本 / 4射	0.250
5 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	3本 / 9射	0.333	4 飛田 季実子 (ソニーアイリス)	1本 / 4射	0.250

追加登録

ソニーセミコンダクタ九州 役員・コーチ 小藪 憲次

(登録抹消: 役員・西山 圭介)

H C 名古屋 No.15 菅谷 美枝 1977.5.31生まれ 170cm70kg 右
大垣西中 名短大付高 H C 名古屋 B R H C

第32回日本ハンドボールリーグ成績表

第4週終了 10月21日

順位	男子	大崎電気	湧永製薬	トヨタ 紡織九州	大同 特殊鋼	トヨタ 車体	Honda	北陸電力	豊田合成	トヨタ 自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気			33 29		31 23	36 28	38 24			4	4	0	0	8	138	104	34
2	湧永製薬			29 29	31 28			38 21	45 16		4	3	1	0	7	143	94	49
3	トヨタ紡織九州		29 29		25 31		35 23	39 32	43 22		5	3	1	1	7	171	137	34
4	大同特殊鋼	29 33				32 25	36 27	46 25			4	3	0	1	6	143	110	33
5	トヨタ車体		28 31	31 25			35 36	34 27	37 17		5	3	0	2	6	165	136	29
6	Honda	23 31		25 32			28 21		32 24		4	2	0	2	4	108	108	0
7	北陸電力	28 36		23 35	27 36	36 35	21 28				5	1	0	4	2	135	170	-35
8	豊田合成	24 38	21 38	32 39	25 46	27 34					5	0	0	5	0	129	195	-66
9	トヨタ自動車		16 45	22 43		17 37	24 32				4	0	0	4	0	79	157	-78

順位	女子	オムロン	三重ハイオレットアイリス	ソニーセミコンダクタ九州	北国銀行	広島メイフルレッスン	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	オムロン			25 24			31 12		2	2	0	0	4	56	36	20
2	三重ハイオレットアイリス					24 24	27 20		2	1	1	0	3	51	44	7
3	ソニーセミコンダクタ九州	24 25			22 21				2	1	0	1	2	46	46	0
4	北国銀行			21 22		27 26			2	1	0	1	2	48	48	0
5	広島メイフルレッスン		24 24		26 27				2	0	1	1	1	50	51	-1
6	HC名古屋	12 31	20 27						2	0	0	2	0	32	58	-26

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。